

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公表番号】特表2020-516032(P2020-516032A)

【公表日】令和2年5月28日(2020.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2020-021

【出願番号】特願2019-553814(P2019-553814)

【国際特許分類】

F 2 1 S 2/00 (2016.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 2/00 4 3 3

F 2 1 S 2/00 4 3 7

G 0 2 B 6/00 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いの反対側にある第1の主面及び第2の主面と、前記第1の主面と前記第2の主面の間の厚さtと、を有する光ガイドであって、前記第1の主面が、

前記光ガイドの視認可能なエリアの全長Lの少なくとも90%にわたって第1の面内方向に延びる複数の延長特徴部であって、Lは少なくともtの100倍であり、前記延長特徴部は前記視認可能なエリアの10%~60%をカバーする、複数の延長特徴部と、

前記延長特徴部同士の間のスペースに配置された離散特徴部であって、前記光ガイドの前記視認可能なエリアの前記長さLに沿って、及びその幅Wに沿って、間隔を置いて配置された離散特徴部と、

を含む、光ガイド。

【請求項2】

前記複数の延長特徴部と前記複数の離散特徴部が、共通の基底面を有する、請求項1に記載の光ガイド。

【請求項3】

前記複数の離散特徴部の各離散特徴部が、基部と、前記基部から延びる第1の面と、前記基部から延びる第2の面と、を含み、前記第2の面は前記第1の面と平行ではなく、前記第1と前記第2の面は前記離散特徴部の縁部で接し、前記第2の面と前記基部との間の角度は1°~20°である、請求項1に記載の光ガイド。

【請求項4】

前記第1の面及び前記第2の面が矩形形状を有する、請求項3に記載の光ガイド。

【請求項5】

前記複数の離散特徴部の各離散特徴部が、楕円体の一部分の形状を有し、前記第1の主面上の前記延長特徴部同士の間のスペースに配置された前記第2の複数の離散特徴部を更に含み、前記第2の複数の離散特徴部の各離散特徴部が、基部と、前記基部から延びる第1の面と、前記基部から延びる第2の面と、を含み、前記第2の面が前記第1の面と平行でなく、前記第1の面と前記第2の面が前記離散特徴部の縁部で接する、請求項1に記載

の光ガイド。

【請求項 6】

一体型ポリマーフィルムが、前記第1の主面及び前記第2の主面と、前記複数の延長特徴部と、前記複数の離散特徴部と、を含む、請求項1に記載の光ガイド。

【請求項 7】

互いの反対側にある第1の主面及び第2の主面と、前記第1の主面と前記第2の主面の間の厚さ $t$ と、を有する光ガイドであって、前記第1の主面が、

前記光ガイドの視認可能なエリアの全長 $L$ の少なくとも90%にわたって第1の面内方向に延びる複数の延長特徴部であって、 $L$ は少なくとも $t$ の100倍である、複数の延長特徴部と、

前記光ガイドの前記視認可能なエリアの前記長さ $L$ に沿って、及びその幅 $W$ に沿って、間隔を置いて配置された複数の離散特徴部と、

を含み、前記複数の離散特徴部の各離散特徴部が、

互いに隣接する第1の延長特徴部と第2の延長特徴部との間に延び、両者を接続する第1の面と、

前記第1の面に隣接し、前記第1の延長特徴部と前記第2の延長特徴部との間に延び、両者を接続する第2の面と、を含み、前記第1の面と前記第2の面が前記離散特徴部の縁部で接する、光ガイド。

【請求項 8】

前記複数の離散特徴部のうちの少なくともいくつかの離散特徴部が、前記複数の延長特徴部の最大高さ以上の高さを有する、請求項7に記載の光ガイド。

【請求項 9】

前記複数の離散特徴部のうちの少なくともいくつかの離散特徴部について、前記第1の面が、前記光ガイドの入力縁部により近く、前記第2の面が、前記入力縁部からより遠い、請求項7に記載の光ガイド。

【請求項 10】

前記複数の離散特徴部のうちの少なくともいくつかの離散特徴部について、前記第1の面が、前記光ガイドの入力縁部からより遠く、前記第2の面が、前記入力縁部により近い、請求項7に記載の光ガイド。

【請求項 11】

前記複数の延長特徴部のうちの少なくとも1つの特徴部が、

前記第2の延長特徴部とそれに隣接する第3の延長特徴部との間に延び、両者を接続する第3の面と、

前記第3の面に隣接し、前記第2の延長特徴部と前記第3の延長特徴部との間に延び、両者を接続する第4の面と、

を更に含む、請求項7に記載の光ガイド。

【請求項 12】

互いの反対側にある第1の主面及び第2の主面と、前記第1の主面と前記第2の主面の間の厚さ $t$ と、を有する光ガイドであって、前記第1の主面が、

前記光ガイドの視認可能なエリアの全長 $L$ の少なくとも90%にわたって第1の面内方向に延びる複数の延長特徴部であって、 $L$ は少なくとも $t$ の100倍である、複数の延長特徴部と、

前記光ガイドの前記視認可能なエリアの前記長さ $L$ に沿って、及びその幅 $W$ に沿って、間隔を置いて配置された複数の離散特徴部と、

を含み、

一体型ポリマーフィルムが、前記第1の主面及び前記第2の主面と、前記複数の延長特徴部と、前記複数の離散特徴部と、を含む、光ガイド。

【請求項 13】

前記複数の離散特徴部の各離散特徴部が、

前記複数の延長特徴部のうちの第1の延長特徴部の主面の一部分と重なり合う第1の面

と、

前記複数の延長特徴部のうちの第2の延長特徴部の主面の一部分と重なり合う第2の面と、を含み、前記第2の延長特徴部が前記第1の延長特徴部に隣接している、請求項1\_2に記載の光ガイド。

【請求項14】

前記複数の離散特徴部の各離散特徴部が、前記複数の延長特徴部のうちの隣接する延長特徴部同士の間のスペースに配置される、請求項1\_2に記載の光ガイド。

【請求項15】

前記第2の主面上に配置されたコーティングを更に含み、前記コーティングが耐衝撃性  
コーティングである、請求項1～1\_4のいずれか一項に記載の光ガイド。